

# 精神障害者の引きこもりからの解放と社会復帰を目指すコンサート

特定非営利活動法人 ジェイズマスクワイア  
〒574-0027 大阪府大阪市平野区喜連1-4-32

## 助成事業の概要

**実施目的：** 障害当事者、障害者家族の心の癒し、また障害者の引きこもりからの解放と社会復帰のチャンスを広げるためのコンサート。

**時期：** 2023年4月より月1回の定期音楽会を開始。同年12月2日(土)大阪市立平野区民ホール(大阪市平野区平野南1丁目2-7)にてコンサート開催。

**内容：** 障害者、障害児とその家族ら、また一般応募の健常者の参加によりコンサートを開催。

一般社団法人日本こどもみらいラボ渡辺洋亮氏による親子整体、NPO 法人サンフェイスの障害児によるダンスをステージで披露する約220名が参加した。

また障害者雇用を実践する企業の方々、大阪府藤井寺市(株)不知火、就労支援施設ラ・リーシュ、大阪府八尾市美馬工務店、大阪府守口市一般社団法人日本こどもみらいラボ、大阪市生野区 NPO 法人サンフェイス、といった障害者雇用を実践されている企業5社も参加し、障害者に社会復帰のための機会を作っていた。

## 事業の成果

2023年度、私たち法人の事業主旨は「精神障害者の引きこもりからの解放と社会復帰」です。事業は4月から障害者と家族、また健常者の参加する「音楽交流会」から始まり、その最終着地点として12月2日(土)大阪市立平野区民ホールにてコンサートが行われました。

そのコンサートではゲスト参加してくれた歌手の市岡裕子さん(吉本興業、大阪の伝説的コメディアン故、岡八郎さんの愛娘)も、障害者と共に歌ってくれ、また人権活動の講話などをいただき、参加した多くの人々が感動してくださいました。

また昨年も参加してくれた障害児ダンスチーム「Sanctuary」が元気いっぱい踊ってくれ、会場を沸かせてくれていました。

今回の事業の目的は「引きこもりからの解放と精神障害者の社会復帰」です。

鬱病などによる精神障害者の引きこもり期間が長くなると、当然のことながら家族関係が悪化する、ということが現実化する状況を見て来ました。

今回事業に参加した精神障害者の中にも15年以上の引きこもり者が数名。

また20年以上という方も1名おられました。

その方のお父さんの年齢は75歳で、今だに現役で働いていらっしゃるという現状を見ますと、やはり家族の中に年々「不安」というものが広がって行く、ということは否めない事実です。

そのような障害者家族も含めた今回の回復事業に、障害者雇用を実施されている企業が当初の予定よりも1社多い(大阪府八尾市美馬工務店、美馬功之介社長)、5社が参加してくださいました。そしてコンサート終了数日後に、参加した精神障害者の中の数人が「雇用面接を受けたい」という発言をされました。少なくとも精神に障害を持つ方が、そのような前向きな発言をされたことは私たちにとっても大きな励みであり、何より家族の方々「自分たちの身内の引きこもりが解消されるかもしれない」という希望を抱ける出来事に

心から喜んでくださいました。

2023年度の事業の目標は、鬱病や引きこもりに苦しむ人々の、心の痛みからの解放であり、弘済会様の助成金により開催させていただくことが出来た本事業によって、社会問題の解決ともいえる、私たちの掲げた目標に、大きな一歩を歩ませていただけたこと、心から感謝しております。

## 成果の広報・公表

法人会報の掲載にコンサート時の写真と共に公表。また2024年1月の法人主催集会でスクリーンを使用し、動画を用いて、参加した人々の様子、喜びの表情などを中心に発表。

公表される予定の文章

一般のお客様：岡八郎さんは若い時によく見ていた漫才師、吉本の芸人さんです。その娘さんが歌手として、また人権活動講師としてステージ出演されていることに感動しました。

またこのようなコンサートがあれば見に来たいです。

障害者家族会：Jaye 公山様、そしてNPO 法人ジェイズマスクワイアの皆様、この度は息子がコンサートに出演させていただき、本当にありがとうございました。息子も、もう40歳を過ぎて、長いこと引きこもりの生活を送っていますが、このような外に出る機会を与えていただけて感謝しています。これからも息子共々よろしく願います。

精神障害当事者：コンサートで歌いました。楽しかったです。会場に会社の社長が来てることで緊張しましたが、一生懸命歌えてよかったです。面接を受けてみたいです。

## 今後の展開

昨年開設した事業所（大阪市東住吉区田辺1-5

-26)での活動が活発化して来ています。

今回の事業においても音楽ワークショップや定期交流会などを開催することが出来、徐々に地域の障害者の方々にも認知されて来ていることを実感しています。この場所を利用し、更に障害者、また家族の方々との交流を深めて行きます。そして現在一般社団法人こどもみらいラボ（渡辺洋亮代表）と共に、親子整体というコンテンツを用いて2024年度の事業にトライしていますが、その内容は、子供が「お母さんの耳たぶをさわる」「背骨の数を数える」「心臓の音を聞く」など、親子の触れ合いを中心とした愛着障害児と家族の心の回復事業です。そして更に障害者、愛着児、またその家族との交流を深め、家族の関係回復による地域全体の活性化に努めて行く所存です。